

H25.11.16

男性にもある更年期障害



長尾和宏 (ながお・かずひろ)
東京医大卒業後、大阪大第二内
科入局。平成7年、尼崎市で「長
尾クリニック」を開業。外来診療
から在宅医療まで「人を診る、総
合診療を目指す。医学博士。近著
「平穏死・10の条件」「胃ろうと
いう選択、しない選択」はいずれ
もベストセラー。関西国際大学客
員教授。55歳。

女性は閉経期前後に更年期
障害があることは有名です。
症状は、ほてり、いろいろな
動悸など。男性にも更年期障
害はあるのでしょうか？あ
るのです。男性更年期障害で
す。しかし、まだ広く認識さ
れてはいません。

女性は更年期障害はエスト
ロゲンという女性ホルモンが
急激に減少するために起こり
ます。しかし男性の場合、テ
ストステロンという男性ホル
モンは、女性ホルモンのよう
に急激に低下せず、長い時間
をかけてゆっくり低下しま
す。女性には「閉経」という
明確なサインがありますが、
男性の場合はそのような目印
がありません。ただ、男性ホ
ルモンの低下の程度は個人差

見逃されがちなLOH症候群

大きい。そのため男性更年
期は、ともすれば見逃されが
ちなのです。

しかし最近、男性更年期は
「LOH症候群」と言葉を交
えて注目されています。LO
H症候群の症状を以下に挙げ
てみましょう。精神症状とし
ては、不安、いろいろな、う
つ、不眠、集中力の低下、記
憶力の低下、性欲の減少な
ど。身体症状としては筋力低
下、疲労感、めまい、耳鳴
り、頻尿などです。

た感じる「あごひげの伸
びが遅くなった」「性欲が落
ちた」など具体的で、多岐に
及びます。総点数が高いと重
症度が高くなります。最悪は
満点の85点ですが、50点以上
はLOH症候群の可能性があ
るとされ、治療対象になり得
ます。

注意しなければいけないの
は、LOH症候群の合併症で
す。先週に述べたように、テ
ストステロンの低下は血管の
老化、動脈硬化を引き起こし
ます。場合によっては心臓や
脳のチェックが必要です。さ

ものを補おうという発想で
す。もちろん、更年期障害は
広い意味では老化という自然
現象でもありますから、余計
な手出しはしたくない、興味
がないという方もいるでしょ
う。それは個人の自由です。
米国では2006年のデー
タで400万人がテストステ
ロンの補充療法を受けていま
すが、日本では2万人に過ぎ
ません。実は女性の更年期障
害に対するホルモンの補充療
法も同様の傾向があります。
日本人は我慢強いうえ、自然
現象に逆らいたくないという
国民性があるからなのでしょう。

なくないと思います。私自身
も例外ではありません。実
は、LOH症候群の患者さん
は、少なく見積もっても60歳
以上の男性の2割、70歳以上
の3割、80歳以上の5割いる
と推定されています。

LOH症候群かどうかを調
べるため「AMSスコア」と
いう簡易テストが世界中で使
われています。質問内容は
「いろいろな」「疲労や行
動力の減退」「ピークは過ぎ

らに、LOH症候群とパーキ
ンソン病やうつ病との鑑別も
必要です。また、抗うつ薬を
たくさん飲むと、テストステ
ロンが下がるという警告もあ
り、LOH症候群の診断は慎
重に行う必要があります。

LOH症候群の治療は、テ
ストステロン補充療法になり
ます。女性の更年期障害の治
療に、女性ホルモンの補充療
法が行われるのと同様です。
快適に暮らせるよう足りない

AMスコア「Aging Male
s' Symptoms Score」の略
で、LOH症候群をスクリーニングす
るための簡易テスト。17項目の質問に
5段階の点数で回答し、総点数で評価
する。診断にはこれと合わせて血液中
のテストステロンの測定が必要。

